家畜衛生だより

最上家畜保健衛生所
最上地域家畜畜産物衛生指導協会
令和６年１月２７日発行

今シーズン国内７例目

山口県で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認！

１月２７日、山口県防府市の家きん農場で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の疑似患畜が確認されました。
今シーズン、国内で７例目の確認となります。
発生の概要は以下のとおりです。

１　発生農場の概要

所在地：山口県防府市　　飼養状況：２３羽（採卵鶏）

２　経緯

・１月２６日、農場から死亡羽数が増加している旨の通報を受け、農場への立ち入り検査を実施。鳥インフルエンザの簡易検査を実施し、陽性であることが判明。
・１月２７日、遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

飼養衛生管理基準を順守し、ウイルス侵入防止対策の徹底をお願いします

少羽数を飼養している方も対策の再確認をお願いします！

農場での人や車両の出入の際の消毒等の徹底
〇野生動物（野鳥など）の農場への侵入防止対策の徹底
〇飼養家きんを毎日観察し、万が一、飼養家きんに異常を発見した場合は、すぐに担当獣医師もしくは当所までご連絡ください

最上家畜保健衛生所　電話：0233－29－1357

今般、鹿児島県の事例ではオオクロバエからもウイルスが検出されています。今冬は暖冬のため八工対策も重要です！家きん舎への侵入防止の徹底を！

〇死亡鶏を家きん舎等に放置しない
〇家きん舎の金網や防鳥ネット（吸気口）、鶏糞等を殺虫剤処理する（冬期間も最低月に１回）